

ネットワーク基盤技術シンポジウム「テラヘルツ技術の新展開と展望」

～ Symposium on Innovative Terahertz Technology - Challenges for New ICT Paradigm - ～

日時：2008年3月26日 9:55～18:30（交流会・ポスター展示は20:00まで）

場所：コンファレンススクエア・エムプラス・会議室「サクセス」（三菱ビル1階）

（東京都千代田区丸の内2-5-2、<http://www.marunouchi-hc.jp/emplus/access/>）

概要：テラヘルツ領域未開拓周波数（100GHz-10THz）の開拓を目的とする技術の新展開・展望の議論を目的に以下内容のシンポジウムを企画しました。新世代テラヘルツ技術とも言うべき萌芽的技術（大容量無線技術、センシング・イメージング技術、および各種標準技術）を取り上げ、それらの将来の社会利用・産業応用に力点を置いた議論を行う予定です。議論を通じて新しい研究開発の方向性や応用可能性が浮き彫りになるものと期待されます。

参加費：無料

プログラム：本メール末尾

主催：情報通信研究機構

共催：テラヘルツテクノロジーフォーラム

後援：総務省（予定）

協賛：電子情報通信学会・テラヘルツ応用システム研究会

電子情報通信学会・マイクロ波・ミリ波フォトニクス研究会

応用物理学会・テラヘルツ電磁波技術研究会

交流会：シンポジウム終了後、交流会を予定しております（参加費 1000 円）。こちらのご参加も歓迎致します。

お申し込み：電子メール(sitt@ml.nict.go.jp)による事前登録をお願いします。以下内容をメール送付下さい。どうぞよろしくご願ひ申し上げます。

事前登録メール

2008年3月26日「テラヘルツ技術の新展開と展望」シンポジウムに参加します。

氏名：

所属：

連絡先：

交流会出欠： 出席 欠席

問い合わせ先：sitt@ml.nict.go.jp,

または、新世代ネットワーク研究センター

光波量子・ミリ波 ICT グループ

寶迫 Tel:042-327-6508

シンポジウムプログラム

09：55 開会の辞

大森慎吾（情報通信研究機構）

10：00 挨拶

田原康生（総務省）

10：05 シンポジウム・ブリーフィング 「未開拓周波数帯の研究開発戦略」

寶迫巖（情報通信研究機構）

10：40 特別セッション「ウルトラブロードバンド無線への挑戦」

座長：尾辻泰一（東北大学）

基調講演 「300 GHz band wireless communication project」

K. Ostmann（ドイツ理工学研究所）

基調講演 「フジテレビジョンにおける高速無線技術の放送業務への利用と展開」

中山稔啓（フジテレビジョン）

基調講演 「Standardization on THz-wireless personal area network」

R. Roberts（インテル）

12：40 展示「NICTのTHz技術への取り組み」（20：00まで）

昼食

13：50 セッション「新世代THzセンサ技術の萌芽」

座長：川瀬晃道（名古屋大学）

招待講演 「伝送線路チップを用いた THz 分光」

角屋 豊（広島大学）

招待講演 「非冷却赤外線ボロメータカメラと THz イメージング応用」

小田直樹（日本電気）

招待講演 「材料分光スペクトルデータベースの構築」

福永香（情報通信研究機構）

15：20 休憩

15：50 セッション「THz 帯標準技術」

座長：斗内政吉（大阪大学）

特別講演 I 「Traceability of THz spectroscopy and imaging system」

M. Naftaly（英国物理研究所）

招待講演 「THz コムに基づいた THz 周波数計測」

安井武史（大阪大学）

招待講演 「テラヘルツ計測標準への展望」

大谷知行（理化学研究所）

招待講演 「NICT テラヘルツ帯大気伝搬モデル MATRAS の構築（ITU-R 提案に向けて）」

笠井康子（情報通信研究機構）

17：50 特別講演 II 「NICT のテラヘルツ技術への取り組み」

神谷武志（情報通信研究機構）

18：20 閉会の辞

平川一彦（東京大学）

18：30 交流会

20：00 終了